

# 災害に

# 備える



平成2年9月台風19号による洪水被害  
(邑久町尾張・本庄地内)  
(岡山県『平成2年9月台風第19号災害誌』,1992.)

平成16年の台風による被害  
(邑久町地内)

平成16年8月台風16号による被害 (牛窓町地内)

平成16年8月台風16号による被害 (牛窓町地内)

近年多発する台風や集中豪雨は、今までの予想を超える大きさや強さで多くの被害を引き起こしています。昨年は、7月の山口島根豪雨災害をはじめ、福井、滋賀、京都で大雨特別警報が発表された9月の台風18号による豪雨災害、10月の台風26号による伊豆大島での土石流災害など、全国各地で大規模な災害が発生しました。一方、今世紀前半での発生が懸念される南海トラフ巨大地震では、瀬戸内市でも最大震度6弱、沿岸部では最大3mの津波、浸水域は沿岸部のほか、河川の遡上により内陸部まで及ぶことが想定されています。

災害による被害に遭わないために、家庭や地域で、想定される災害を知り、日頃から万全の備えをしておきましょう。

## 平成16年の 台風被害が10年

瀬戸内市は、これまで、昭和51年9月の台風17号や平成2年9月の台風19号によって甚大な被害を経験しています。

今年、平成16年に瀬戸内市が連続して多くの台風被害を受けて10年目に当たります。中でも平成16年8月に発生した台風16号では、台風接近が満潮時刻と重なり、沿岸部では高潮により住家733戸が浸水する甚大な被害が発生しました。

近年は、地球温暖化などの自然環境の変化のほか、潮位の上昇や局地的な集中豪雨の発生など異常気象による影響はさらに深刻化して、災害が発生した場合、私たちが経験した災害の規模を大きく上回る可能性は極めて高く、災害・防災への備えを決して軽視できない状況です。

災害に対する備えをしておくことが、被害の軽減につながります。過去の経験も踏まえて、個人・地域の防災力を高めておきましょう。

## 台風・集中豪雨に備えて

台風・集中豪雨は、短時間のうちに局地的に激しい雨が降り、河川の氾濫や土砂崩れなどの被害を引き起こします。

台風や大きな雨雲が近づいてきたら、雨量や周囲の現象に注意し、テレビやラジオ、防災行政無線のサイレンや音声で広報される情報を耳を傾けるようにしましょう。

台風・集中豪雨が発生もしくは発生する恐れがある時は、気象庁が警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表します。その他、市が避難勧告などの避難情報を発令します。避難情報は緊急速報メールや市メールマガジンでも配信します。

また、河川の水位や海の潮位、防災気象情報は地上デジタル放送のデータ放送（dボタン）や岡山県総合防災情報システムなどインターネットによる情報サービスの活用や防災情報メールに登録することなどにより、自宅や職場、外出先でも、収集することができます。安全に避難するためには、自ら情報を収集することも大変重要

です。

【防災行政無線の放送内容をもう一度確認したいときは】

電話による防災行政無線の自動再生を行っています。左記の電話番号から放送内容をご確認ください。

☎0869・22・0699

☎0869・22・0032

## 地震・津波に備えて

南海トラフ巨大地震が発生した場合、瀬戸内市では、最大震度6弱、津波は地震発生後1時間58分後に到達し、高さは最大3m程度になると想定されています。

市では、平成25年度に地震・津波への備えと南海トラフ巨大地震が発生した際の震度や液状化、津波による浸水範囲とその深さを示した「地震・津波ハザードマップ」を作成し、市民の皆さんに配布するとともに、「海抜表示標識」を市内500箇所に設置しまし



海抜表示標識

た、ハザードマップや海抜表示を活用

して、家族や地域（自主防災組織）で、地震対策と、津波から迅速・安全に、より高い場所に避難するための対策をしておきましょう。

## 日頃からの予防対策

市では、洪水や土砂災害についてのハザードマップと「地震・津波ハザードマップ」をホームページで公開しています。ハザードマップは、地域に起こり得る災害の被害の程度や避難場所などを示したものです。ハザードマップを活用して次のような防災対策をしておきましょう。



震度6弱の揺れと被害想定（気象庁提供）

## 【防災対策の例】

- ・避難場所や避難経路の確認（最寄りの避難場所までの時間や避難経路の安全性を確認）
- ・災害時の家族の連絡方法（災害用伝言ダイヤル17171など）
- ・防災用語の理解（気象警報や避難情報など）
- ・防災情報メールの登録（県防災情報メール、市メールマガジンなど）
- ・一次持出品の準備（避難する際に持ち出す家族3日分の食料、飲料水など）
- ・二次持出品の準備（長期の避難生活に備えた食料や飲料水、生活用品など）
- ・自宅の周りの点検（雨どいや排水管の点検清掃、樹木の手入れなど）
- ・家具の転倒防止（家具や家電をL型金具や突っ張り棒、耐震マットなどで固定）
- ・住宅の耐震対策（日常点検や補修、耐震診断・補強工事）
- ・自主防災組織の活動（地域ぐるみでの防災対策、防災訓練など）

固危機管理課  
☎0869・22・3604  
HP <http://www.city.setouchi.jp/bousai/index.html>

## 総合防災訓練を実施します



市では、M9.0クラスの南海トラフ巨大地震が発生し、瀬戸内市で震度6弱を観測、液状化、土砂崩れ、家屋の倒壊や建物火災、ライフラインの途絶があり、また沿岸部に大津波警報が発表され、3mの津波が襲来するとの想定で「第8回瀬戸内市総合防災訓練」を行います。

この総合防災訓練は、岡山県県内市町と連携して実施します。当日は、津波避難訓練、消火訓練、給水訓練などを行います。また煙体験や土のうづくり体験などの防災コーナーを設置します。皆さん、積極的にご参加ください。

▽日時 8月31日（日）午前9時から

▽場所 裳掛小学校グラウンド

※小雨決行。ただし、気象情報などの状況により中止する場合があります。中止の場合は、当日の午前7時頃に防災行政無線などでお知らせします。

固危機管理課  
☎0869・22・3604